

農林大学校の動き(R4年6月)

2022. 7. 21

島根県立農林大学校 (担当: 教務 三宅)

TEL: 0854-85-7012 FAX: 0854-85-7113

<https://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>

◇◇農林大の学生達の日頃の活動状況、いろいろな行事などを簡単にご紹介します◇◇

※新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じた上で、できることを取り組んでいます。



○有機農業専攻の水稲ほ場で「アイガモロボ」の研修を開催(6/9)

機能強化研修として、県農業普及員などが有機農業専攻の水稲ほ場で開催。井関農機株式会社の担当者を講師として迎えて、抑草ロボット「アイガモロボ」のしくみや操作方法について、有機農業専攻の学生も一緒に学んだ。水稲ほ場で実証を担当した熊谷さん(1年生)は、「アイガモロボは餌やりや鳥獣害対策のない点が楽になります」と感想を述べた。



○アグリビジネス加工研修(6/10)

農業科1年生が2班に分かれて、農産加工実習を行った。野菜専攻産の冷凍保存していたイチゴでジャムを作り、瓶詰め。おにぎらず、かき玉汁を作り、ランチを楽しんだ。



○「あすてらすフェスティバル」に野菜専攻の学生が参加(6/11)

大田市内の県立施設「あすてらす」で、同フェスティバルが開催され、併せて開催された「県民自主企画イベント」に野菜専攻の2年生2名と教員が参加。野菜専攻の学生が栽培したトマト、きゅうり、なすなどを販売し、早い時間に売り切れるほどの大盛況であった。



○「就農ガイダンス」で、地域再生協や関係機関と情報交換(6/24)

就農を希望する農業科の1・2年生および短期養成コースの学生が、本校OB「おかずくらぶ」岡氏の講演を聴いた後、校内に設置した地区ごとのブースにおいて、就農に向けた具体的なアドバイスを受けたり、地域の後継者支援制度などについて情報交換を行った。



○「イオンの森づくり」に農大生が参加(6/25)

イオンの環境教育の一環として行っている植樹活動にイオン関係者108名とともに、林業科1年生13名が参加した。当日は天候に恵まれ、予定植栽本数1,400本を参加者全員で協力し、無事植栽が完了した。

・ * 皆様のご意見、ご感想をお待ちしております! * ・